

宮崎県（所在地：宮崎県）

事業名

共生社会の実現に向けた生涯学習支援に係る実践研究事業

事業の趣旨・目的

障がいの有無に関わらず、「誰もが共に学び、生きる共生社会」の実現に向けて、以下のことに取り組む。

- ・推進体制の・実態把握のための調査研究
- ・学習・体験プログラムの開発と実施
- ・普及啓発、理解促進のためのコンファレンス開催、情報発信

事業内容

【推進協議会の実施】

7月（中止）、10月、12月、1月（コンファレンス検証）、2月

【調査研究】

（種類）「本人用」、「家族・職員・支援者等用」に分けて実施

（内容）生涯学習活動に対する意識、学習経験と今後のニーズ、課題等
※別途、市町村教育委員会、社会福祉協議会に対して、講座等の実施状況や課題について調査

【実践研究】

霧島おむすび自然学校（余暇の充実、社会参加・自立を促す体験活動）

株式会社グローバル・クリーン（働く意欲をもたせる仕事づくり）

南九州大学野村研究室（人材育成を目指した講習会、地域との連携）

【普及啓発】

九州・沖縄ブロックコンファレンス開催、生涯学習課ウェブサイトへの新規ページ作成、リーフレット作成等

事業実施体制・連携先

【推進協議会構成員】

県内大学、専修学校、特別支援学校、PTA、社会福祉協議会、企業、当事者団体、家族団体、支援団体、市町村教育委員会、県障がい福祉課、県教育研修センター

【推進協議会の特色】

のちの事業展開を見据え、県内を3地区に分けて地区別に協議を実施

研究の成果と課題

【成果】

・推進体制を構築し、分野・立場を超えて地区別に展開方策を検討

・「障がい者の生涯学習」という視点から初めて調査を実施

〈回収数〉本人用646、家族・職員・支援者等用1,582

・視点の異なる3団体で研究を行い、コンファレンスや推進協議会においてその成果を共有

・ブロックコンファレンスに約200名参加（教育関係者約50%、福祉関係者約20%、県外参加者約20%）、事後アンケートでの満足度92%

【課題】

・県内で行われている多様な取組についての情報収集、一元化

・市町村の理解促進、県・市町村（社会教育施設含む）が行う既存の講座等の見直しと改善〈R3:教委、福祉部局、社協対象の研修会実施予定〉

・推進協議会を核とした、関係団体や企業等のネットワーク拡大

・各地区における取組を継続的なものとするための方策の具体的検討

その他研究の詳細など

宮崎県生涯学習課HP「みやざき学び応援ネット」



<https://www.sun.pref.miyazaki.lg.jp/>



〈QRコード〉



〈推進協議会：地区別協議〉



〈九州・沖縄ブロックコンファレンス〉

